

千葉科学大学公開講座2026



市民参加型×大学の知を地域へ「学びが広がる、安心して暮らせるまち。」

講座のねらい・概要

健康で豊かな人生につながる、学びの宝箱

銚子市・銚子市教育委員会と共催し、さわやかちば県民プラザが主催する「ちば子ども大学」とも一部連携している。社会全般にわたる教養を深め、その成果を広く市民と共有することを目的に43講座を開講している。大学の専門的知見を分かりやすく地域へ還元し、市民の学びの充実と地域課題への理解促進に貢献している。

講座（抽出）の様子

① 災害対策本部機能の継続（SDGs 11, 13）



組織において災害初動対応の要となり諸緊急活動を調整するのが災害対策本部です。北米の事例を使って、世界基準の災害対策本部機能の継続手法を紹介した。

R8.7.14 危機管理学部准教授 五十嵐 仁

③ 赤ちゃんがやってきた！（SDGs 3）



昔と今で変わった育児の考え方、孫を授かったときに知っておきたい今どきの育児や祖父母の関わり方について紹介した。

R8.8.7 看護学部教授 加藤江里子

② 薬剤師のお仕事を知ろう（SDGs 3）



薬剤師の仕事に興味のある小・中・高校生や社会人、薬学部への進学を考えている中・高校生を対象に、薬剤師の仕事を体験しながら紹介した。

R8.7.24 薬学部教授 加藤 隆、准教授 大徳秀幸

④ 救急救命士の仕事とは？（SDGs 3, 11）



講義前半で救急救命士について座学で学び、後半では大学で所有している救急車の見学、救急救命士が行う処置の体験を通して、救急救命士の仕事を紹介した。

R8.8.31 危機管理学部助教 飯田涼太

◎参加対象：①・③は社会人、②、④は小学生から社会人まで

参加者の声

- ① 私は日本赤十字災害ボランティア会員ですので、北米の話に関心があり役に立ちました。
- ② 講義も分かりやすく、体験もできて良い学びの機会となりました。
- ② 薬剤師の仕事が多くの方で私たちの生活や健康を支えて下さっていることがわかり、とても良かったです。
- ③ 実践もありとても楽しく参加できました。娘の出産に向け勉強になりました。
- ③ 久しぶりにこの重さを抱っこして、ばあちゃんだからできるサポートをしていきたいと思いました。
- ④ 救急車等の実物を見ることができ良かったです。小学生にとっては貴重な経験になったことと思います。

成果と課題

成果：

大学の特色を生かし、医療・看護・福祉・危機管理、社会学・心理学など幅広い分野の講座を開講している。講座を分野別に整理して掲載することで、受講者が関心や学習目的に応じて選択しやすい環境を整備した。また、大学全体で「ちばSDGsパートナー」に登録し、開設講座とSDGsとの関連をパンフレットに明記することで、受講者のSDGsへの理解や社会課題への関心の向上につながっている。さらに、オンライン受講にも対応し、多様な受講者への学習機会の提供を実現している。

課題：各講座終了後のアンケートでは高い評価を得ている一方で、新たなテーマの開設や講座内容の充実を求める意見も寄せられている。今後は、受講者や地域のニーズを的確に把握しながら講座内容の改善を継続し、多様な学びを提供する生涯学習の場としての機能充実を図る必要がある。

